

船舶事故調査報告書

平成27年8月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄司邦昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成27年3月20日 06時00分ごろ以降の錨泊した時刻～17時32分ごろの間）
発生場所	長崎県長崎市端島 ^は 南方沖 肥前端島灯台から真方位166° 1,560m付近 （概位 北緯32° 36.80′ 東経129° 44.50′）
事故調査の経過	平成27年3月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 みお丸、0.5トン NS3-406710（漁船登録番号）、個人所有 4.99m (Lr) × 1.64m × 0.65m、FRP ガソリン機関（船外機）、30kW（動力漁船登録票による）、平成21年9月3日
乗組員等に関する情報	船長 男性 73歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年12月3日 免許証交付日 平成25年11月19日 （平成31年11月8日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	船長は、一本釣り漁のため、平成27年3月20日06時00分ごろ自宅を出て本船の係留場所である長崎市古里 ^{ふるさと} 港に向かった。 船長の家族は、ふだん、14時ごろには帰宅する船長が15時になっても帰宅しないので、船長の携帯電話に連絡したところ、呼出音が数回鳴った後、電話に出ることができない旨の音声ガイダンスが流れ、16時ごろ再度船長の携帯電話に連絡したが、同様に呼出音が数回鳴った後、音声ガイダンスが流れたので、知人に相談した。 僚船の船長は、船長の家族から相談を受けた知人から話を聞き、漁から帰航中の15時20分ごろ端島南方沖で本船らしき船舶を見掛けたので、僚船で端島南方沖に向かったところ、17時32分ごろ

	<p>肥前端島灯台から166°（真方位、以下同じ。）1,560m付近において、無人で錨泊中の本船を発見し、118番通報した。</p> <p>船長は、翌21日10時05分ごろ、長崎市野母埼南方3km付近の海上において、漂流しているところを捜索中の漁船に発見され、その後、溺死と検案された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 3～5</p> <p>海象：波高 約1～1.5m、海面水温 約15℃</p>
その他の事項	<p>本船は、操舵室等の甲板上の構造物がない小型漁船であり、発見時、船体に衝突痕等は認められなかった。</p> <p>船長は、発見時、固形式の救命胴衣を着用し、防水型の携帯電話を身に付けていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、06時00分ごろ以降に肥前端島灯台から166°1,560m付近で錨泊した後、17時32分ごろ無人で錨泊しているところを発見されたことから、この間において、錨泊中に船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、端島南方沖において錨泊中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>

付図1 事故発生場所概略図

